



# 二所ノ関



| 前相撲 | 序ノ口     |         |        | 序二段      |         |         |         |         | 三段目     |         |         |         |         |         |         | 幕下     |         | 十両      | 幕内     |               |
|-----|---------|---------|--------|----------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|--------|---------|---------|--------|---------------|
|     | 東<br>21 | 東<br>11 | 東<br>1 | 東<br>106 | 東<br>97 | 東<br>88 | 西<br>66 | 東<br>13 | 東<br>74 | 西<br>73 | 東<br>72 | 東<br>51 | 東<br>44 | 東<br>32 | 西<br>23 | 西<br>5 | 西<br>60 | 西<br>11 | 西<br>3 | 東大関           |
| 田中  | 住吉      | 内間      | 山田     | 西勢郷      | 足立      | 湍谷      | 阿見大心    | 総勢山     | 藤宗      | 谷口      | 貴正道     | 林龍      | 今村      | 麟虎      | 羅漢児     | 古田     | 麒麟龍     | 花の海     | 白熊     | 大の里           |
|     | 4<br>3  | 5<br>2  | 4<br>3 | 3<br>4   | 4<br>3  | 5<br>2  | 4<br>3  | 1<br>6  | 4<br>3  | 3<br>4  | 3<br>4  | 3<br>4  | 2<br>5  | 3<br>4  | 2<br>5  | 4<br>3 | 3<br>4  | 4<br>3  | 6<br>9 | 優勝<br>14<br>1 |

五月場所結果

| 序ノ口     |        | 序二段     |         |         |         |         |         |         |         |         | 三段目     |         |         |         |         |         | 幕下      |        | 十両     | 幕内      |
|---------|--------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|--------|--------|---------|
| 東<br>22 | 東<br>1 | 西<br>90 | 東<br>86 | 西<br>72 | 西<br>63 | 東<br>63 | 西<br>44 | 西<br>36 | 西<br>17 | 西<br>12 | 東<br>74 | 東<br>71 | 東<br>56 | 東<br>54 | 西<br>53 | 西<br>10 | 西<br>54 | 西<br>7 | 西<br>4 | 西<br>横綱 |
| 田<br>中  | 西勢郷    | 総勢山     | 住吉      | 山田      | 内間      | 足立      | 湍谷      | 阿見大心    | 谷口      | 貴正道     | 今村      | 林龍      | 羅漢児     | 藤宗      | 麟虎      | 麒麟龍     | 古田      | 花の海    | 白熊     | 大の里     |

七月場所新番付

## 大の里 V4、第75代横綱昇進

綱取りのプレッシャーが一身にかかる中、初日から14連勝。ぶっちぎりの優勝を決めた。場所前は稽古ができない日も数日あり、調整が遅れていた。師匠と入念な打ち合わせをおこない、出稽古を敢行。締め稽古で恒例となっている師匠との三番稽古。「今場所所で決まるぞ」と師匠を唸らせるほどに仕上げた。苦境からのこの経験は今後の糧になったはず。千秋楽、全勝を逃したがまだまだ発展途上。変わらず稽古に精進し、師匠のように尊敬される力士になってもらいたい。

## 新横綱を支える付け人たち

横綱になると付け人が3人から7人に増える。これは横綱の綱を締める作業が増えるからである。相撲協会の現役力士の中で雲龍型の綱を締められるのは足立ただ1人。師匠から大の里へ2代に渡り完璧な綱が足立によって制作された。新たな付け人たちは足立の指導のもと、日々綱締めの練習に励んでいる。



## 古田が連続勝ち越しで新幕下昇進

一年前のデビューから連続勝ち越しを継続させ、幕下昇進を決めた古田。学生時代は軽量級で活躍していたものの、大相撲の無差別級の戦いに戸惑っていた部分もあった。徹底した増量、身体作り、自分より大きな相手を地道に押し続ける稽古が続いた。5番目の取り組みではライバル大学のレギュラー選手だった力士と対戦。学生時代の実績では及ばない相手ではあったが真向勝負で押し出し、1年間での成長を証明して見せた。同じ大学の白熊は目標ではあるが、力士になってから1番成長したのは古田なのかもしれない。



## 花の海がいよいよ幕下一桁へ

花の海が最高位近くまで番付を伸ばし勝ち越し。日々の勝負が無い激戦の中、最後まで諦めずに勝ち越した。簡単に押し切れる相手はおらず、細かな技術を身につけての勝ち越し。いよいよ来場所は強者達がしのぎを削る幕下1桁に突入する。必ず関取に上がる、という覚悟を持って稽古に励む。



## 二所ノ関部屋が沸いた！山田の初勝ち越し

ただただ相撲が大好きで、一般人と変わらない体型で1年前入門した山田。なかなか思うような相撲が取れず、苦戦する日々が続いていた。それでも腐ることなく稽古に励み、迎えた3勝3敗の最後の一番。二所ノ関部屋のテレビの前には全力士が固唾を飲んで見守っていた。前日に幕内優勝を決めた大の里でさえ応援していた一番で見事勝ち越しを決めた。勝った瞬間、歓声と大きな拍手が二所ノ関部屋に沸き起こった。普段はあまり周囲に注目されない序ノ口力士の活躍が5月場所中でイチバン二所ノ関部屋を盛り上げた。



## 二所ノ関親方の総評コーナー！

大の里が4回目の優勝、横綱昇進を決めました。私の部屋創設時に掲げた「茨城から横綱を」という目標を達成することができました。大の里については改めて語ることはないでしょう。5月場所目立った力士は古田です。技術的な上手さはあるものの、大きな相手に体力負けすることがあり、体重増加と身体作りに励んできた成果が少しずつ現れてきました。実は私も新幕下は名古屋場所。翌年の5月には新十両でした。古田も同じ道を歩み、同級生の白熊の影を踏むくらいにはなりたいと思います。花の海も自己最高位。幕下上位は最も激戦となるハイレベルな場所です。ここからは技術云々ではなく、気持ちの強い者が勝ちます。稽古で自信をつけ、強い気持ちで挑んで欲しいです。内間、住吉もデビュー場所で勝ち越しました。相撲経験者の強者揃いの中、よく頑張ったと思います。地道な稽古で身体作りをすれば楽しい存在です。山田の初勝ち越しも部屋を大いに盛り上げてくれました。6月は巡業もなく、部屋でじっくり稽古することができました。皆それぞれ大の里に続いて躍進を期待します。中でも白熊が眠りから覚めることを期待して、名古屋に入りたと思います。

## 3名の新弟子たちが活躍

初めて番付に乗った5月場所内間と住吉が勝ち越し。相撲経験者の強者揃いの中で、15歳ながらも物怖じせず戦い抜いた。地道に身体作りを続ければ数年後には楽しみな2人である。田中も前相撲で奮闘し、序ノ口デビューとなる名古屋での活躍に期待したい。場所は相撲教習所に通う日々。朝4時の早起きも、片道1時間の移動も、仲良し3人組には全く苦にならない様子である。

